

起こるライフイベント、上がる費目・下がる費目～あるモニターの9年間～

2000年に長男を出産しましたが、年間集計が2002年からしか残っていないで、2002～2011年の変遷となっています。たった9年間ですが、子どもの成長と共に、それぞれの費目が乱高下しています。その都度都度で対処療法（節約や見直し）をしています、同時に今後の「見通し」を立て、貯蓄等も頑張った9年間でした。

(2002年を「1」とする)

消費支出	2004 年	2005 年	2007 年	2009 年	2011 年					
収入	1. 13	1. 13	1. 13	1. 17	1. 19					
食費	1. 07	0. 98	1. 18	1. 16	1. 14					
保険医療費	3. 76	27. 8	3. 4	4. 77	6. 24					
教育費	3. 77	4. 7	3. 8	5. 7	8. 02					
職業主婦費	0. 8	0. 6	0. 68	0. 84	0. 74					
自動車関係費	1. 83	0. 97	1. 02	7. 58	1. 04					
所得税	0. 99	0. 95	1. 02	0. 94	1. 47					
住民税	1. 44	1. 78	1. 98	2. 86	2. 92					
非消費支出	1. 19	1. 37	1. 44	1. 52	2. 08					
年表										
	2000・7長男出産 	2004・4長男幼稚園入園 	2005・7次男出産 	2006・1車買換え 	2007・4長男小学校入学 	2007・5主人病気 	2009・4次男幼稚園入園 	2009・8車買換え 	2011・1主人保険プラス 	2012・4次男小学校入学 

＜考察＞

- * 収入：少しずつ上がっているように見えるが、ボーナスは実は2分の1に。子どもが2人になり、児童手当や幼稚園の補助金が増えたり、出産一時金が含まれていたり、「その他の収入」分が多肢にわたってあっても、給料はさほど変わらず。
- * 食費：子どもが1人→2人になり、「節約」や「手作り」に励んだ。外食も特別な時だけ。
- * 医療費：お菓子好きの旦那様がついに境界型糖尿病→ホントの糖尿病に!!毎月の薬代がすごい...
- * 教育費：一体どこまで延びるのか?!横浜市は私立幼稚園しかないので負担大。子どもの年齢と共に習い事も徐々に増え、2011年が一番MAXかも。
- * 結局減らしたところは旦那様の「おこづかい」と「交際費」。
- * 2009年～の住民税2.86倍は、2007年から始まった所得税制改正により税率区分がUPしたと思われる。ちなみにこの6月から「15歳以下の年少扶養控除」が廃止（63万円控除→0円）され、モデル世帯家計で子ども1人世帯→2750円、子ども2人世帯→5500円の増税がなされます。
- * 2011年の所得税アップは上記に先立ち基礎控除等がなくなり、単純に可処分所得が上がったため、ということです（源泉徴収上では控除額が75万円ほど減っていた...）
- * 消費支出：2011年から終身生命保険をプラスしたため（老後用に）、2.08倍になっている。